

スイッチでのテレフォニーOUI(Organizational Unique Identifier)インターフェイスの設定

目的

音声仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)は、Voice over Internet Protocol(VoIP)機器からのトラフィックが、IP電話、VoIPエンドポイント、音声システムなどの音声デバイスで構成される特定のVLANに割り当てられるときに使用されます。スイッチは、ポートメンバーを自動的に検出して音声VLANに追加し、音声VLANからのパケットに設定済みのQuality of Service(QoS)を割り当てることができます。音声デバイスが異なる音声VLANにある場合、通信を提供するにはIPルータが必要です。

Organizational Unique Identifier(OUI)は、Institute of Electrical and Electronics Engineers, Incorporated(IEEE)登録局によって割り当てられます。IP電話のメーカーの数は限られていて有名であるため、既知のOUI値によって、関連するフレームおよびフレームが認識されているポートが自動的に音声VLANに割り当てられます。

注：スイッチでテレフォニーOUI設定を行う方法の詳細については、[ここ](#)をクリックしてください。

QoS属性は、次のいずれかのモードで音声パケットにポートごとに割り当てることができます。

- All：音声VLANに設定されたQoS値は、インターフェイスで受信され、音声VLANに分類されるすべての着信フレームに適用されます。
- テレフォニー送信元MACアドレス：音声VLAN用に設定されたQoS値は、音声VLANに分類され、設定されたテレフォニーOUIと一致するOUIを送信元MACアドレスに含むすべての着信フレームに適用されます。

WebベースのユーティリティのテレフォニーOUIインターフェイスページを使用すると、OUI IDに基づいて音声VLANにインターフェイスを追加できます。また、音声VLANでOUI QoSモードを設定するためにも使用されます。

この記事では、スイッチでテレフォニーOUIインターフェイスを設定する方法について説明します。

適用可能なデバイス

- Sx200シリーズ
- Sx250シリーズ
- Sx300シリーズ
- Sx350 シリーズ
- SG350X シリーズ
- Sx500 シリーズ
- Sx550X シリーズ

[Software Version]

- 1.4.7.06 — Sx200、Sx300、Sx500
- 2.2.5.68 — Sx250、Sx350、SG350X、Sx550X

スイッチでのテレフォニーOUIの設定

重要:次の手順に進む前に、スイッチでVLANが設定されていることを確認してください。スイッチでVLAN設定を行う方法については、[ここ](#)をクリックして手順を参照してください。

ステップ 1 : Webベースのユーティリティにログインし、Display ModeドロップダウンリストからAdvancedを選択します。



注 : Sx200、Sx300、またはSx500シリーズスイッチがある場合は、[ステップ2](#)に進んでください。

ステップ 2 : VLAN Management > Voice VLAN > Telephone OUI Interfaceの順に選択します。

▼ VLAN Management

VLAN Settings

Interface Settings

Port to VLAN

Port VLAN Membership

Private VLAN Settings

GVRP Settings

▶ VLAN Groups

▼ Voice VLAN

Properties

Auto Voice VLAN

Telephony OUI

Telephony OUI Interface

▶ Access Port Multicast TV VLAN

▶ Customer Port Multicast TV VLAN

注：メニューオプションは、使用しているスイッチによって異なる場合があります。この例では、SG350Xスイッチが使用されています。

ステップ 3：Interface Type ドロップダウンリストからインターフェイスを選択します。

Telephony OUI Interface

Interface Settings Table

Filter: *Interface Type* equals to Port of Unit 1 ▼ Go

Entry No.	Interface	Tel	Member
		LAG	

次のオプションがあります。

- Port:1つのポートだけを選択する必要がある場合は、Interface TypeドロップダウンリストからPortを選択します。
- LAG:Interface Typeドロップダウンリストから、設定するLAGを選択します。これは、LAG設定で定義されたポートのグループに影響します。

注：この例では、ユニット1のポートが選択されています。

ステップ4：Goをクリックして、インターフェイス上のポートまたはLAGのリストを表示します。

Interface Settings Table

Filter: *Interface Type* equals to Port of Unit 1 ▼ Go

ステップ5：変更するポートまたはLAGのオプションボタンをクリックします。

	Entry No.	Interface	Telephony OUI VLAN Membership		Telephony OUI QoS Mode
			Administrative	Operational	
<input type="radio"/>	1	GE1	Disabled	Disabled	MAC address
<input type="radio"/>	2	GE2	Disabled	Disabled	MAC address
<input type="radio"/>	3	GE3	Disabled	Disabled	MAC address
<input checked="" type="radio"/>	4	GE4	Disabled	Disabled	MAC address
<input type="radio"/>	5	GE5	Disabled	Disabled	MAC address
<input type="radio"/>	6	GE6	Disabled	Disabled	MAC address

注：この例では、GE4がクリックされています。

手順 6：ページを下にスクロールして、Editをクリックします。

<input type="radio"/>	49	XG1	Disabled
<input type="radio"/>	50	XG2	Disabled
<input type="radio"/>	51	XG3	Disabled
<input type="radio"/>	52	XG4	Disabled

Copy Settings... Edit...

ステップ7: (オプション) 設定するインターフェイスに対応するオプションボタンをクリックします。

Interface:

Unit 1 ▼ Port GE4 ▼ LAG 1 ▼

次のオプションがあります。

- Unit:Unitドロップダウンリストから、設定するポートを選択します。これは、選択された単

一のポートに影響します。

注：Sx500スイッチを使用している場合、このオプションは[ユニット/ポート]として表示されます。

- LAG:LAGドロップダウンリストから、設定するLAGを選択します。これは、LAG設定で定義されたポートのグループに影響します。

注：この例では、ユニット1のポートGE4が選択されています。

ステップ 8：インターフェイスをテレフォニーOUIベースの音声VLANのポートにするには、Telephony OUI VLAN Membershipチェックボックスをオンにします。受信したパケットがテレフォニーOUIで設定されているインターフェイスと一致する場合、そのポートは音声VLANに含まれます。

Telephony OUI VLAN Membership:  Enable

ステップ 9：インターフェイスの目的のVoice VLAN QoSモードに対応するオプションボタンをクリックします。

Voice VLAN QoS Mode:

 All
 Telephony Source MAC Address

次のオプションがあります。

- All:QoSパラメータは、音声VLANにソートされたパケットでのみ使用されます。
- Telephony Source MAC Address:QoSパラメータは、IP電話からのパケットでのみ使用されます。

注：この例では、「All」が選択されています。

ステップ 10：ApplyをクリックしてからCloseをクリックします。

Interface: Unit Port LAG

Telephony OUI VLAN Membership: Enable

Voice VLAN QoS Mode: All Telephony Source MAC Address

ステップ11: (オプション) Saveをクリックして、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。

cisco Language:

Gigabit PoE Stackable Managed Switch

Telephony OUI Interface

Interface Settings Table

Filter: *Interface Type* equals to

	Entry No.	Interface	Telephony OUI VLAN Membership		Telephony OUI QoS Mode
			Administrative	Operational	
<input type="radio"/>	1	GE1	Disabled	Disabled	MAC address
<input type="radio"/>	2	GE2	Disabled	Disabled	MAC address
<input type="radio"/>	3	GE3	Disabled	Disabled	MAC address
<input type="radio"/>	4	GE4	Enabled	Disabled	All
<input type="radio"/>	5	GE5	Disabled	Disabled	MAC address
<input type="radio"/>	6	GE6	Disabled	Disabled	MAC address

これで、スイッチでテレフォニーOUIインターフェイスの設定が完了しました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。